

6次産業化推進事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	内	部局名	農林水産部	課名	食料産業振興課		課長名	岡本吉央	
事業主体	県、市町、農林漁業者等				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 ■ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	H24 年度 経過年数 7 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	H30 年度	
事業実施方法	直営、補助												
補助率	国1/2、県1/2												
福井ふるさと元気宣言 における位置付け	ビジョン [元気な産業] 政策 [「農」・「林」・「漁」業を意欲と誇りの総合産業へ]				関連する県の計画等		[ふくいの農業基本計画、福井経済新戦略]						
[事業目的]													
ふくいのブランド品目や地域の特産物を、一次生産だけでなく6次産業化により付加価値を高めて県内外にアピールするため、生産者、商工業者、関係機関が連携して商品開発・販売を行う。													
[事業内容]													
<p>1 産業・地域の6次化</p> <ul style="list-style-type: none"> ○産業の6次化…福井県6次産業化推進会議の開催、いちほまれの食卓を彩る食品の開発 ○地域の6次化…市町の戦略に基づく地域の6次産業化を推進（実施主体：市町、農林業業者等 補助率：1/2） ○加工機械の整備を支援（実施主体：農林業業者等 補助率1/2） <p>2 農家等経営の6次化</p> <ul style="list-style-type: none"> ○6次産業化サポートセンターを設置しプランナーを派遣 ○販売力強化等研修・加工技術研修等の開催【地区別】 ○マッチング商談会、アグリフードEXPO東京・大阪出展 ○商品づくり・販路開拓支援（実施主体：農林漁業者等 補助率1/2） ○加工用機械・施設整備支援（実施主体：農林漁業者等 補助率1/2） 													
[受益者] 農林漁業者						[想定される受益者数] 約3万人							
前事業の有無・実績		<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)				市町との連携状況		・少額の事業については市町単独事業で対応。またハード整備事業は県と共働で対応するため、市町への間接補助で実施					
[事業の評価]													
前年度の実績				実績を踏まえた30年度の変更点				事業評価					
・6次化新商品開発数 22商品（見込み） ・6次化新商品販売額 2.9億円（見込み） ・補助事業件数(県単) ソフト7件、ハード3件 (国庫) ソフト3件、ハード2件 ・アグリフードEXPOへの出展 8/23.24 東京6業者、2/21,22 大阪2業者				・加工施設および農家レストラン整備事業終了（H29） による減				<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額		
								<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了			
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他			

6次産業化推進事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	内	部局名	農林水産部	課名	食料産業振興課	課長名	岡本吉央			
事業主体	県、市町、農林漁業者等				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務		事業 区分	■ 実行予算 ■ 補助金 □ その他		事業 開始 年度	H24 年度 経過年数 7 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	H30 年度
事業実施方法	直営、補助													
補助率	国1/2、県1/2													
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源		国庫、その他財源の名称等							
予算額	37,016	24,190				12,826	食料産業・6次産業化交付金							
[予算額の推移等] (単位：千円)														
区 分		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	実績等を踏まえた30年度の変更点							
当初予算額の推移		42,990	29,397	25,125	167,258	37,016	・加工施設および農家レストラン整備事業完了による予算減							
2月現計予算額の推移		14,196	14,790	18,761	138,194									
決算額の推移		10,383	13,253	16,944										
前年度までの 主な増減理由		○27年度：6次産業化サポートセンターの運営費・人件費削減およびサポートセンター主体の研修会回数の見直しによる減 ○28年度：国庫の制度変更による補助率引き下げに伴う減 ○29年度：加工施設および農家レストランの整備支援等による増												
[成果指標等の推移]														
区 分		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	目標・指標の考え方・積算根拠							
成果指標	6次産業化による新商品の販売額（千円）	(106,000) 実績 118,290	(166,000) 173,020	(214,000) 232,000	(262,000)	(310,000)	政策合意目標数値							
活動指標	補助件数（県）	(14) 実績 5	(14) 13	(14) 8	(13)									
他県の状況	○新潟県 ・商品開発・販路開拓、施設・設備整備を支援 ・農業者と他業者の連携による戦略策定を支援 等 ○富山県 ・商品開発・販路開拓、施設・設備整備を支援 ・6次産業化とやまの魅力発信事業 等 ○石川県 ・商品開発・販路開拓、施設・設備整備を支援 ・いしかわ百万石マルシェ事業（首都圏での販売会） 等					関連事業の有無・ 役割分担		■ 無 □ 有 事業名 (役割分担)						

アジア市場への食の輸出拡大事業

区分	拡充	経費区分	政策的経費	シーリング	外	部局名	農林水産部	課名	食料産業振興課	課長名	岡本吉央		
事業主体	ふくい食輸出サポートセンター				事務 区分	■ 自治事務	事業 区分	<input type="checkbox"/> 実行予算 <input type="checkbox"/> 補助金 <input checked="" type="checkbox"/> その他	事業 開始 年度	H28 年度	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	H30 年度	
事業実施方法	負担金								<input type="checkbox"/> 法定受託事務	事業 経過 年数			3 年
補助率	—									<input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 整理統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> その他			見直し額
福井ふるさと元気宣言 における位置付け	ビジョン [元気な産業] 政策 [革新と創造で伸びゆく福井の企業]				関連する県の計画等		[ふくいの農業基本計画]						
[事業目的]													
高い経済成長が見込まれるアジア諸国に対して、福井の食材、酒、伝統的工芸品等で構成される「福井の食文化」をPRすることにより、新たな販路を開拓し、平成28年度の輸出額5億円を平成30年度までに倍増させる。													
[事業内容]													
1 県内での活動 <input type="checkbox"/> 県内事業者を対象とした海外展開セミナーの開催 <input type="checkbox"/> アジア諸国のバイヤーを県内に招聘し、商談会を開催 <input type="checkbox"/> 県内事業者を対象に、輸出向け商品開発に向けた専門家派遣や試作品評価にかかる経費を支援 2 各国での活動 <input type="checkbox"/> 各県連携した海外レストラン向け販路開拓、レストラン等での食文化提案会・商談会の開催 <input type="checkbox"/> 現地の高級スーパー等において「福井県物産展」を開催し、現地高所得者層にPR													
[受益者] 県内の農林水産業者、食品業者、6次化事業体等						[想定される受益者数] 延べ約70社（セミナー30社、物産展10社、提案会・商談会30社）							
前事業の有無・実績		<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 県産農林水産物のアジア市場開拓事業 (実績) ・シンガポールの高級日本料理店において食文化提案会を開催 ・バイヤー招聘等も行い、甘えび、越前がに、鯖のへしこ等をシンガポール向けに販売 ・本県産農林水産物を採用する飲食店 10店				市町との連携状況							
[事業の評価]													
前年度の実績				実績を踏まえた30年度の変更点				事業評価					
<<海外での活動>> ・食文化提案会と商談会を開催（11/14シンガポール、11/16香港） ・物産展を開催（11/8～香港、12/26～シンガポール、1/26～台湾） <<県内での活動>> ・海外バイヤーを招聘し、県内で商談会を開催（11/7） ・県内事業者向けの研修会を開催（9/4）				○新たにタイを対象国に追加するとともに、食文化提案会・商談会の開催方法等を見直し <<海外での活動>> ・食文化提案会、商談会について、次のとおり見直し ①対象国の見直し（シンガポール → タイ） ②商談会開催方法の見直し（香港：提案会の縮小）				<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 終期の見直し 見直し額 <input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 整理統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> その他					

アジア市場への食の輸出拡大事業

区分	拡充	経費区分	政策的経費	シーリング	外	部局名	農林水産部	課名	食料産業振興課	課長名	岡本吉央		
事業主体	ふくい食輸出サポートセンター					事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	<input type="checkbox"/> 実行予算	事業 開始 年度	H28 年度 経過年数 3 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	H30 年度
事業実施方法	負担金								<input type="checkbox"/> 補助金				
補助率	—								<input checked="" type="checkbox"/> その他				
区分	事業費	国庫	起債	その他		一般財源		国庫、その他財源の名称等					
予算額	19,949	8,887				11,062	地方創生推進交付金						
[予算額の推移等] (単位：千円)													
区 分		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	実績等を踏まえた30年度の変更点						
当初予算額の推移				16,430	20,273	19,949	○新たにタイを対象国に追加するとともに、食文化提案会・商談会の開催方法等を見直し 《海外での活動》 ・食文化提案会、商談会について、次のとおり見直し ①対象国の見直し(シンガポール → タイ) ②商談会開催方法の見直し(香港：提案会の縮小)						
2月現計予算額の推移				16,430	20,273								
決算額の推移				16,430									
前年度までの 主な増減理由	○29年度：次の取組を追加 ・水産HACCPセミナーの開催 ・シンガポール、台湾に加え、香港にて物産展を開催 ・輸出向け商品開発等支援 ・他県と連携したレストランフェア												
[成果指標等の推移]													
区 分		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	目標・指標の考え方・積算根拠						
成果指標	本県農産物等を採用する 飲食店数	(目標)		(17)	(30)	(40)	政策合意目標数値(H29政策合意にて、目標値上方修正)						
		実績		17									
活動指標	食文化提案会、商談会、 物産展の開催件数	(目標)		(5)	(5)	(5)	食文化提案会・商談会2件、県内商談会1件、物産展3件						
		実績		5									
他県の状況	※シンガポールにおける食のPRの状況 ○石川県 ・「ワールド・グルメ・サミット」におけるPR オープニングレセプションに石川県ブースを出展 石川の食文化PRディナーの実施 ・日本大使館施設における石川の伝統工芸と地酒のPR ○新潟県 ・新潟米の試食宣伝会の開催					関連事業の有無・ 役割分担		<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 アジア市場への食の輸出拡大事業(国際経済課) (役割分担) ・国際展示会・商談会への出展支援 ・海外業界団体等との取引開始を前提とした産地視察を実施 ・タイにおける現地市場視察ミッションや現地消費者等による求評会 を実施					

福井県産食材売込強化事業

区分	拡充	経費区分	政策的経費	シーリング	内	部局名	農林水産部	課名	食料産業振興課		課長名	岡本吉央			
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	H27 年度 経過年数 4 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	H30 年度			
事業実施方法	直営														
補助率	—														
福井ふるさと元気宣言 における位置付け	ビジョン [元気な産業] 政策 [「農」・「林」・「漁」業を意欲と誇りの総合産業へ]				関連する県の計画等		[]								
[事業目的]															
<p>民間事業者と共働して開催する、大都市圏のホテル等における福井フェアを通じて、全国に誇る美味しい旬の食材の地産外商を進めるとともに、食を彩る伝統工芸品、御食国に代表される食の歴史・文化をトータルに発信することにより、「食の國福井」の全国での認知度を向上させる。</p>															
[事業内容]															
<ul style="list-style-type: none"> ○営業ツールの作成 <ul style="list-style-type: none"> ・営業活動の際に使用する食の情報誌を作成する。 ○商談の場の提供 <ul style="list-style-type: none"> ・バイヤーを産地に招き、直に食材の良さ、産地風景、食文化等を体感してもらう商談の場を設ける。 ○チーム福井の売込み支援 <ul style="list-style-type: none"> ・食および伝統工芸品事業者が、県等が一体となり食の展示会等に出展し、本県の食や食文化を売り込む。 ○広報宣伝 <ul style="list-style-type: none"> ・「ふくい食アンバサダー」を活用し、本県食材の販路拡大およびPRを展開する。 															
[受益者]						[想定される受益者数]									
前事業の有無・実績	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 「地産外商」フードビジネス推進事業 (実績) ・都内での食材取引成立件数 118事業者					市町との連携状況									
[事業の評価]															
前年度の実績			実績を踏まえた30年度の変更点				事業評価								
・フェア開催件数 34件 (28年度)			・複数の事業者を招き産地を巡る産地交流会を開催				■ 拡充	□ 縮減	□ 終期の見直し	見直し額					
							□ 継続	□ 休止	□ 完了						
							□ 整理統合	□ 廃止	□ その他						

福井県産食材売込強化事業

区分	拡充	経費区分	政策的経費	シーリング	内	部局名	農林水産部	課名	食料産業振興課	課長名	岡本吉央		
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務		■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	H27 年度 経過年数 4 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	H30 年度	
事業実施方法	直営					□ 法定受託事務							事業 区分
補助率	—												
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等							
予算額	8,976			(諸) 2,000	6,976	福井銀行からの負担金							
[予算額の推移等] (単位：千円)													
区 分		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	実績等を踏まえた30年度の変更点						
当初予算額の推移			14,044	12,179	8,642	8,976	・複数の事業者を招き産地を巡る産地交流会を開催						
2月現計予算額の推移			14,044	12,179	8,642								
決算額の推移			13,612	11,721									
前年度までの 主な増減理由	○29年度～：機構改革により、観光営業部ブランド営業課と農林水産部食料産業振興課において事業費を分割して計上												
[成果指標等の推移]													
区 分		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	目標・指標の考え方・積算根拠						
成果指標	都市圏において県産食材 を購入したいと思う人の 割合 (%)	(目標)				(96)	H27からアンケート調査開始						
		実績	80	96	93								
活動指標	福井フェア開催件数	(目標)	(27)	(30)	(35)								
		実績	28	34									
他県の状況	※フェアの開催支援状況 ○富山県 ・ホテル等でのフェア開催（年7回） ○高知県 ・関西・中部地区などの量販店やホテル、飲食店等でフェアの開催や 県外での商談会への出展支援などの外商活動を展開 ○福岡県 ・大都市圏および県内のスーパーにおける試食宣伝、県産農林水産物 フェアや外食産業との連携した福岡県産メニューの提供					関連事業の有無・ 役割分担		<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 福井ゆかりの店の情報発信拠点活用事業 （役割分担） ・当事業では県外へのPRを行うことを目的としているが、福井ゆかり の店の情報発信拠点活用事業では県産食材の販路拡大を目的として いる。					

味わい学ぶ「ふくい 味の週間」推進事業（第12回全国高校生食育王選手権大会開催）

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	外	部局名	農林水産部	課名	食料産業振興課	課長名	岡本吉央		
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	H27 年度 経過年数 4 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	H30 年度	
事業実施方法	委託												
補助率	—												
福井ふるさと元気宣言 における位置付け	ビジョン [元気な産業] 政策 [「農」・「林」・「漁」業を意欲と誇りの総合産業へ]					関連する県の計画等		[第2次 ふくいの食育・地産地消推進計画]					
[事業目的]													
<p>近い将来、自立した食生活を送ることになる高校生を対象に、食に関する知識、調理技術などについて競うことを通じて、食に対する関心を向上させるとともに、「食を選択する力」を身に付け、望ましい食習慣の形成と食育活動の実践を促進させるため、「食育先進県ふくい」が生んだ全国に誇る食育事業として、第12回となる全国高校生食育王選手権大会を開催する。</p>													
[事業内容]													
<p>第12回全国高校生食育王選手権 会場：県産業会館</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ WEBによる予選大会（7月～9月） <ul style="list-style-type: none"> ・ 食育に関するクイズ(4択方式・計40問)をA日程とB日程で2回実施 ・ 予選の参加特典として、協賛企業からの賞品を抽選で提供 ○ 決勝大会（11月） <ul style="list-style-type: none"> ・ 全国の予選を勝ち抜いた高校生チームが福井県に集い、食に関する知識や調理技術などの競技により第12代高校生食育王を決定 ・ 全国的に著名な料理人等を審査員とし、審査員を通じて大会をPR ・ 観戦者を呼び込むブースを設置 													
[受益者] 県民全体						[想定される受益者数] 約80万人							
前事業の有無・実績	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 「ふくいの食・世界の食」交流発信事業 (実績) 平成26年度 来場者 35,800人 販売額 15,793千円 出展団体数 134団体					市町との連携状況		・市町主催のイベント等と連携した企画、広報を実施					
[事業の評価]													
前年度の実績				実績を踏まえた30年度の変更点				事業評価					
○「ふくい 味の祭典」開催（来場者数：35,100人） ・いちほまれ初収穫祭 ・食育、地産地消体験イベント、販売活動 ・「福井の地産地消スポーツ弁当」初売り ○「第11回全国高校生食育王選手権大会」の開催 （参加チーム数：320チーム） ○そば打ち団体戦、福井 技の祭典との連携				・平成30年度は福井しあわせ元気国体・福井しあわせ元気大会において、おもてなしが市町で実施されるため、「ふくい 味の祭典」を休止				<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額		
								<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了			
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他			

味わい学ぶ「ふくい 味の週間」推進事業（第12回全国高校生食育王選手権大会開催）

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	外	部局名	農林水産部	課名	食料産業振興課	課長名	岡本吉央		
事業主体	県					事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	H27 年度 経過年数 4 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	H30 年度
事業実施方法	委託												
補助率	—												
区分	事業費	国庫	起債	その他		一般財源	国庫、その他財源の名称等						
予算額	7,009	2,878				4,131	食料産業・6次産業化交付金						
[予算額の推移等] (単位：千円)													
区 分		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	実績等を踏まえた30年度の変更点						
当初予算額の推移		21,750	21,750	21,750	20,250	7,009	・平成30年度は福井しあわせ元気国体・福井しあわせ元気大会において、おもてなしが市町で実施されるため、「ふくい 味の祭典」を休止						
2月現計予算額の推移		21,750	21,750	19,100	22,750								
決算額の推移		19,200	21,680	18,466									
前年度までの 主な増減理由													
[成果指標等の推移]													
区 分		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	目標・指標の考え方・積算根拠						
成果指標	集客数	(目標) (20,000)	(40,000)	(40,000)	(40,000)	—							
		実績 35,800	50,000	38,300	35,100								
活動指標	食育王参加チーム数	(目標) (300)	(500)	(500)	(500)	(500)							
		実績 280	309	314	320								
他県の状況	<ul style="list-style-type: none"> ○富山県主催 越中とやま食の王国フェスタ 10月下旬～11月上旬の土日 両日で来場者約3万人 ・食に関するイベントステージ、県内シェフのレストラン、直売所 ・食の体験イベントなど ○農林水産省主催 食育推進全国大会 ・食育に関する講演会、イベントブース（販売ブースは原則無し） ○食の縁結び甲子園（主催：島根県） ・全国の高校生を対象としたアイデア料理コンテスト（H28～） 					関連事業の有無・ 役割分担		■ 無 □ 有 事業名 (役割分担)					

第3次ふくいの食育・地産地消推進計画策定事業

区分	新規	経費区分	政策的経費	シーリング	内	部局名	農林水産部	課名	食料産業振興課		課長名	岡本吉央			
事業主体	県				事務区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業開始年度	H30 年度 経過年数 1 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	H31 年度			
事業実施方法	直営														
補助率	—														
福井ふるさと元気宣言 における位置付け	ビジョン [元気な産業] 政策 [「農」・「林」・「漁」業を意欲と誇りの総合産業へ]				関連する県の計画等		[第2次 ふくいの食育・地産地消推進計画]								
[事業目的]															
「第2次 ふくいの食育・地産地消推進計画」の成果と課題を踏まえ、家庭、地域、学校、企業が一体となった施策を推進し、県民一人一人の食に対する関心を向上させ、食育活動や地産地消がさらに拡大するよう、第3次計画を策定する。															
[事業内容]															
<ul style="list-style-type: none"> ○ 「第3次ふくいの食育・地産地消推進計画検討委員会」の設置と計画内容の検討 <ul style="list-style-type: none"> ・ 外部の有識者による第3次ふくいの食育・地産地消推進計画検討委員会での検討 ・ 推進計画策定庁内ワーキングチームによる庁内での検討 ○ 計画策定：平成31年3月、計画期間：平成31年度～35年度（5年間） 															
[受益者] 県民全体						[想定される受益者数] 約80万人									
前事業の有無・実績	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 第2次ふくいの食育・地産地消推進計画策定事業 (実績) ・ 検討委員会を設置し、平成25年度に「第2次ふくいの食育・地産地消推進計画」を策定					市町との連携状況	・ 県と市町が一体となって食育・地産地消の取組みを推進								
[事業の評価]															
前年度の実績				実績を踏まえた30年度の変更点				事業評価							
								<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額				
								<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了					
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他					

第3次ふくいの食育・地産地消推進計画策定事業

区分	新規	経費区分	政策的経費	シーリング	内	部局名	農林水産部	課名	食料産業振興課	課長名	岡本吉央	
事業主体	県					事務区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業開始年度	H30 年度 経過年数 1 年	事業終了 予定年度 (見直し年度)
事業実施方法	直営											
補助率	—											
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等						
予算額	430				430							
[予算額の推移等] (単位：千円)												
区 分		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	実績等を踏まえた30年度の変更点					
当初予算額の推移						430						
2月現計予算額の推移												
決算額の推移												
前年度までの 主な増減理由												
[成果指標等の推移]												
区 分		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	目標・指標の考え方・積算根拠					
成果指標	計画の策定 (目標) 実績					策定						
活動指標	(目標) 実績											
他県の状況	○全国状況 ・平成17年施行の食育基本法に基づき、すべての都道府県で食育推進計画を策定 ・うち24の道府県で、国の第3次食育推進基本計画（H28～32）に基づき、第3次食育推進計画を策定済 ・平成22年12月交付の六次産業化・地産地消法には、県の地産地消促進計画策定が努力規定として盛り込まれており、全ての都道府県が地産地消推進計画を策定					関連事業の有無・ 役割分担		<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 ライフステージに応じた食育推進事業 (役割分担) ・生涯にわたって健やかで豊かな食生活を送るため、それぞれの年代に求められる知識等を自ら体験して学ぶことのできる食育を推進				

ふくいの地場産学校給食推進事業

区分	新規	経費区分	政策的経費	シーリング	外	部局名	農林水産部	課名	食料産業振興課	課長名	岡本吉央	
事業主体	県、市町				事務 区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務		事業 区分	<input checked="" type="checkbox"/> 実行予算 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他		事業終了 予定年度 (見直し年 度)	H32 年度
事業実施方法	直営、補助											
補助率	県 10/10											
福井ふるさと元気宣言 における位置付け	ビジョン [元気な産業] 政策 [「農」・「林」・「漁」業を意欲と誇りの総合産業へ]				関連する県の計画等		[第2次 ふくいの食育・地産地消推進計画]					
[事業目的]												
地場産食材の供給円滑化により学校給食における地産地消を推進するとともに、生産者との交流により食育を推進する。												
[事業内容]												
1 地場産食材供給の円滑化 <input type="checkbox"/> 県域での活動 ・供給の調整役（地場産学校給食コーディネーター）を育成する研修会開催 ・県域推進会議の開催（流通情報交換、県域流通体制の検討） <input type="checkbox"/> 地域での活動 ・地域推進会議の開催（生産、流通、加工に関する情報交換、地域内流通体制の検討） ・地域内外の生産・加工現場の把握 2 農業体験活動の推進 <input type="checkbox"/> 小学生を対象とした生産者との交流による農業体験支援（実施主体：市町 補助率：10/10）												
[受益者] 児童生徒、農業者等						[想定される受益者数] 66,000人（県内国公立小中学校の児童・生徒数）						
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					市町との連携状況		・県と市町が連携し、地域内の地場産学校給食に関する情報交換、および流通体制構築を検討				
[事業の評価]												
前年度の実績				実績を踏まえた30年度の変更点				事業評価				
								<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額	
								<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了		
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他		

ふくいの地場産学校給食推進事業

区分	新規	経費区分	政策的経費	シーリング	外	部局名	農林水産部	課名	食料産業振興課	課長名	岡本吉央		
事業主体	県、市町					事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 ■ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	H30 年度 経過年数 1 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	H32 年度
事業実施方法	直営、補助												
補助率	県10/10												
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等							
予算額	11,189				11,189								
[予算額の推移等] (単位：千円)													
区 分		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	実績等を踏まえた30年度の変更点						
当初予算額の推移						11,189							
2月現計予算額の推移													
決算額の推移													
前年度までの 主な増減理由													
[成果指標等の推移]													
区 分		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	目標・指標の考え方・積算根拠						
成果指標	学校給食地場産食材 使用率(88品目)	(目標) 実績	40.9%	43.5%	44.9%	(50.0%)	「第2次 ふくいの食育・地産地消推進計画」(H25~30)における目標値						
活動指標		(目標) 実績											
他県の状況	○富山県 ・市町村推進組織を中心とした推進体制の整備と、旬の県産食材を用いた県産給食の実施を支援 ○岐阜県 ・県産農産物を使い、地産地消の推進、食の大切さや農業への理解を促進する学校給食の実施を支援					関連事業の有無・ 役割分担		■ 無 □ 有 事業名 (役割分担)					

ライフステージに応じた食育推進事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	内	部局名	農林水産部	課名	食料産業振興課		課長名	岡本吉央	
事業主体	県、市町、実施団体			事務 区 分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区 分	■ 実行予算 ■ 補助金 □ その他	事業 開 始 年 度	H26 年度 経過年数 5 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	H30 年度		
事業実施方法	直営、補助												
補助率	1/2												
福井ふるさと元気宣言 における位置付け	ビジョン [元気な産業] 政策 [「農」・「林」・「漁」業を意欲と誇りの総合産業へ]				関連する県の計画等		[第2次 ふくいの食育・地産地消推進計画]						
[事業目的]													
伝統的な食文化の学習や農業体験などの食育活動を推進することにより、それぞれの年代に求められる知識等を自ら体験して学ぶことのできる食育を推進する。													
[事業内容]													
<p>1 公民館等で行う「はじめての食育」活動の推進 ○保育園、公民館等で行う就学前の子どもや小学生を対象とした、地域の食文化に触れる体験や料理講演会を支援（実施主体：市町等 補助率：1/2）</p> <p>2 学校における食育活動の推進 ○小中学生を対象とした地域の生産者等と共働した農業体験活動の推進（実施主体：生産者団体が組織する協議会等 補助率：1/2） ○地域の料理人、農業者と共働した味覚体験や地元の食材について学ぶ授業の推進（実施主体：市町等 補助率：1/2）</p> <p>3 地域において食育リーダーが行う活動の推進 ○県認定「ふくいの食育リーダー」を活用した地域での食育活動の推進（実施主体：団体等 補助率：1/2） ○「ふくいの食育リーダー」のレベルアップを図る企画の実施</p>													
[受益者] 県内の未就学児～高校・大学生、食育リーダー出前講座受講者						[想定される受益者数] 約10万人（県内幼稚園・保育園～高校生数）							
前事業の有無・実績		<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 味わい学ぶ「ふくい 味の週間」推進事業 (実績) 小中学校での農業・農産物加工体験の実施、味覚の授業、妊産婦対象の食育講座（すすくクッキング）などを実施				市町との連携状況		・市町の農政部局および教育部局等と連携を図りながら実施					
[事業の評価]													
前年度の実績				実績を踏まえた30年度の変更点				事業評価					
(29年度見込み) ○「はじめての食育」活動（市町） 3市町6箇所 ○農業体験学習（JA中央会） 26小学校83学級 ○味覚を学ぶ授業（市町・県立学校） 87小中学校194学級 ○食材を知る授業（県立・私立学校） 5高校22学級 ○食育リーダー出前講座（実施団体） 15団体								<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額		
								<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了			
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他			

ライフステージに応じた食育推進事業

主要事業への記載		■	計上段階	29年度	係	28年度	知事	27年度	課長	要求書	16	頁				
区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング			内	部局名	農林水産部	課名	食料産業振興課	課長名	岡本吉央			
事業主体	県、市町、実施団体						事務区分	■ 自治事務		事業区分	■ 実行予算		事業開始年度	H26年度 経過年数 5年	事業終了 予定年度 (見直し年度)	H30年度
事業実施方法	直営、補助							□ 法定受託事務			■ 補助金					
補助率	1/2										□ その他					
区分	事業費	国庫	起債	その他			一般財源		国庫、その他財源の名称等							
予算額	4,168	1,629					2,539		食料産業・6次産業化交付金							
[予算額の推移等]													(単位：千円)			
区 分		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	・加工施設および農家レストラン整備事業完了による予算減									
当初予算額の推移		13,366	10,908	10,590	3,678	4,168	・国庫交付先が事業実施団体から県に変更されたことによる増									
2月現計予算額の推移		5,426	4,422	2,757	3,310											
決算額の推移		3,262	3,829	2,396												
前年度までの 主な増減理由		○29年度：国庫交付先が県から事業実施団体に変更されたことによる減														
[成果指標等の推移]																
区 分		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	目標・指標の考え方・積算根拠									
成果指標	小中学校での体験活動	(目標)	(286)	(280)	(276)	(275)	(275)									
		実績	286	280	276											
活動指標	味覚の授業等開催数	(目標)	(100)	(85)	(100)	(120)	(120)									
		実績	99	125	122											
他県の状況		○全国状況 ・すべての都道府県で食育推進計画が策定され、各都道府県が計画に基づき農業体験の実施など食育を推進する事業を実施					関連事業の有無・ 役割分担		■ 無 □ 有 事業名 (役割分担)							